

阪神・淡路
大震災から
30年

防災週間

8月30日(土)~
9月5日(金)

防災訓練を通して地域とつながろう

東京消防庁では、防災訓練を通して「地域の様々な団体が、災害時の初期消火や救出救助などで協力し合う関係性を構築する」ための取組を進めています。有事の際に消防だけでなくすべての災害に対応することはできません。しかし、皆さん1人ひとりが災害への備えをするだけでなく、地域の住民やそこで働く・学ぶ人たちが協力して災害に対応することができれば、災害による被害を減らすことができます。

パケツリリーによる消火や、がれきに挟まれた人の救出など、一人では無理なことでも、多くの人が協力することで対応できることはたくさんあります。

この機会に家族や近所の方、職場の方などと「共助」について考えてみましょう。



マンション防災訓練

地震後のマンションではこんなことが起こるかもしれません!

東京都内では、約900万人の方がマンション等に居住しています。このような東京都の地域特性を踏まえ、マンションの防災対策を講じてもらうため、東京消防庁では、マンション居住者に訓練などを通じて防災意識の啓発を行い、防災行動力の向上を図っています。



詳しくはこちら



火事 故障や停電で消火設備や警報設備が作動しない

対策 各家庭で消火器を備え、いざという時に使えるように、防災訓練に参加しましょう。

ケガ エレベーターが停止し、ケガ人を地上まで運ぶのが困難になる

対策 家具転倒対策でケガを防ぎましょう。マンション全体で応急手当てや担架の使い方を学びましょう。

閉じ込め 防音性が高いので、助けを呼んでも聞こえない

対策 家具や家電が転倒しないよう固定する。転倒してもドアを塞がないレイアウトにする。居住者間で安否確認できる仕組みを作りましょう。



いざという時に備え防災訓練に参加しましょう

何かの“ついでに”防災訓練

「防災訓練に興味はあるが、なかなか参加する機会がない。」「訓練時間が合わず参加ができない。」との声が多くあります。そのような方々の訓練機会を増やすため、東京消防庁では、公園、商業施設、地域の様々な団体が集まるお祭りやイベントなどに消防職員が行き、その場に来ていた皆様に防災訓練を実施していただくための取組を推進しています。お買い物のついでに、遊びに来たついでに、イベントに来たついでに、ぜひ防災訓練にご参加ください。



外国人のための防災訓練

令和7年1月時点で、東京に在留する外国人は72万人を超えており、今後もますます増加していくことが予想されています。外国と日本では、防災に関する常識が異なる場合があり、出身地によっては地震を知らない方もいます。そのような方にも、いざという時のために、日本の防災について学んでもらう必要があります。そのため、東京消防庁では、言語の壁がある方でも気軽に参加できるよう、外国の方に伝わりやすい「やさしい日本語」を使って話したり、目で見て理解できるイラストや動画などを使って訓練の指導を行っています。街中で見かけた際には気軽にご参加ください。



キュータのQ&A 防災訓練を実施するには?

「防災訓練を企画したいがどうすればいいかわからない。」という方は最寄りの消防署へご相談ください。東京消防庁が提供できる様々な防災訓練用の車両や資器材などを紹介し、場所や時間帯に応じた効果的な訓練内容をご提案します。また、訓練当日も消防職員が立会い、訓練参加者への指導を行います。

9月9日は救急の日

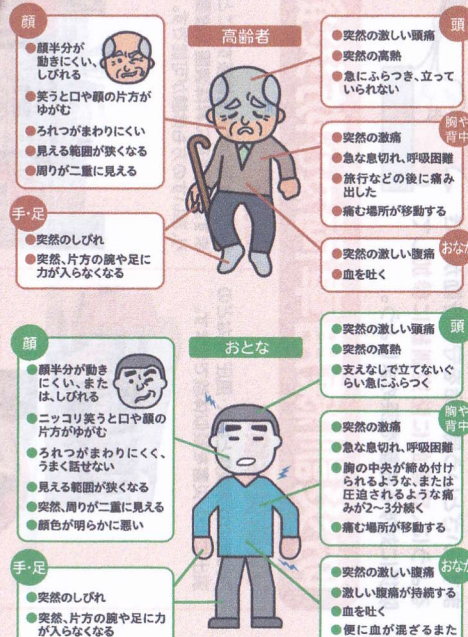
令和6年中の救急出動件数は、935,373件となり、3年連続で過去最多を更新し、令和元年と比較して約10万件増加しました。救急車の出動が増加すると、遠い場所から救急車が出ることになります。救急車到着までの時間が延びると、命が助かる可能性が低下してしまいます。必要な時に迅速に救急車を利用できるように、**ためらわずに救急車を呼ぶべき症状**を参考にしてください。救急車を呼ぶか、病院へ行くか迷った場合には、インターネットから東京版救急受診ガイドを検索するか、電話で「#7119」東京消防庁救急相談センターへ相談してください。



ためらわずに救急車を呼ぶべき症状

緊急性が高いと判断したら、迷わず119番通報!!

子ども(15歳以下)



東京版救急受診ガイド

症状に応じた質問に答えることで、病気の重さや緊急性の有無、受診の必要性、受診時期、受診科目のアドバイスを得られるサービスです。

いつでも、どこでも、誰でも気軽に使えるサービスです。いざというときに落ち着いて操作できるように、今、少しだけでも使ってみましょう。



#7119 東京消防庁救急相談センター

医師や看護師等からなる相談医療チームが救急車の必要性のアドバイスや受診可能な医療機関の案内を電話で行っています。24時間365日いつでも対応しています。



マイナ保険証を活用した救急活動の実証事業に参加しています

傷病者のマイナ保険証を、救急隊がカードリーダーで読み取り、氏名や生年月日、服用している薬、手術歴などの情報を閲覧することで、救急活動に役立てる、総務省消防庁の実証事業に参加しています。救急要請で到着した救急隊が、マイナ保険証の提示を求めることがありますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

※マイナ保険証
健康保険証として利用登録されたマイナンバーカード

119番通報後に 応急手当のアドバイスが受けられます

音声と映像を共有する「Live119」
通信指令員が、通報者とのビデオ通話によるライブ映像を確認しながらアドバイスを行います。

